



みちのみちのり

二千年をつなぐインフラ 柔らかい土木と明日の地図



監督:古木洋平 プロデューサー:清武清

企画:小笠原浩幸/伊東修司/崎谷浩一郎/西山健一

製作:映画「みちのみちのり」製作委員会
 2022年 | 日本 | 70分 | カラー | ステレオ
www.michinori-movie.com



二千年たっても、逢いたい人がいる



虫だいきき

一心さん

古の昔にホテルがあったかわからんけど…
ロマンチックですわね



守田さん

稚児ヶ池の守人

咲いたその一輪が
愛おしいっちゃうかね



澄子さん

花を育てる

楽しければ
いいんですよ



伊東さん

普段気にしないことに
目が向けられる道ですね



楠瀬さん

道づくりを担う

昔から誇れのある道を
大事にしていかなければ



図師さん

夫の想いをつく

ここ来ると
思い出しますね…



安藤さん

古墳の番人

ここにくるのが
楽しみなんですよ



竹之下さん

神話の語り部

はい！皆さんで古墳に
あいさつしましょう

神代の昔。高天原よりやってきた天孫ニニギノミコトは、ある川のほとりてコノハナサクヤヒメと出逢う。二人が暮らしたゆかりの地をつなぐ道は、やがて「記紀の道」と名付けられ、古より湧き出づる水辺とともに、今もなお人々は寄りそい暮らし続ける――。

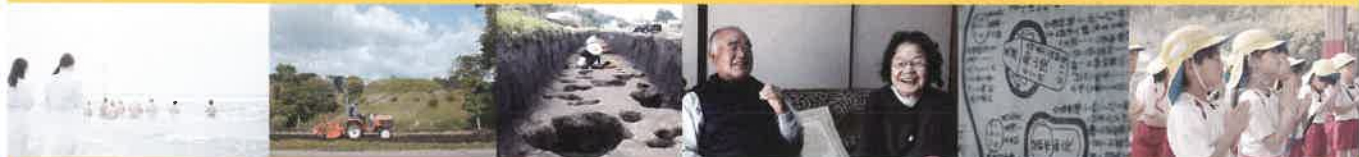
舞台は宮崎県西都市。おおらかな風景の中で、住民たちは、小川ではホテルを育て、水鳥のやってくる美しい池を守り、古代蓮や季節の花を育てる。記紀の道で練り広げられる何気ない日常は、一枚の古代地図を通して、やがて神話の世界と重なりだす。

地域の愛情がおりなす一本の「みち」。目の前に、今を生きる道があれば、それはきっとどこかへ続いていることを教えてくれる。それはまるで、未来を照らす「地図」のようなドキュメンタリー。

公共事業をアップデートする「記紀の道」のみちづくり

かつてこの一帯が区画整理されようとする中、多くの遺跡が発見された。市は開発から保存へと舵を切り、2005年、風景を守り後世に伝えるために、記紀の道整備事業をスタートさせた。

小川、田んぼ、巨木といった土地の風景をデザインの拠り所とし、昔からそうであったかのような風景をめざした。行政と住民が協力しあい、15年以上かけて少しずつ完成させた。そうしたプロセスが評価され、グッドデザイン賞や国土交通大臣表彰手づくり郷土賞などを受賞。一般的には住民が関わる機会の少ない公共事業だが、地域づくりの仕組みにうまく組み込むことで、自走する風景づくりが続いている。



みちのみちのり

www.michinori-movie.com

監督:古木洋平 プロデューサー:清武清 企画:小笠原浩幸/伊東修司/崎谷浩一郎/西山健一
撮影:牛久保賢二/Matthew Carmody 音楽:Polar M/東瑛子 アニメーション:渡辺亮
2022年/日本/70分/カラー/16:9/DCP 製作:映画「みちのみちのり」製作委員会



6/24 (土)~7/14(金)
東京上映!



ポレポレ東中野

03-3371-0088 pole2.co.jp

東京都中野区東中野4丁目4-1
JR東中野駅西口より徒歩1分
都営大江戸線A1出口より徒歩1分